

西小は おおきな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言～

平成 30 年 7 月 20 日 (金) No.21
1 学期最終号 発行人

自分の部屋にはエアコンが無い。
さて夏を乗り切れるか?の川崎先生

◇よさこいソーラン練習◇

中休みに、あやめホールにて 6 年生が西小伝統のよさこいソーランを 5 年生、4 年生に教えている。そしてそこからまた後輩へと伝えられていくのだろう。この素晴らしき関係性は、見ていて自然と笑顔になる

しかし、その練習の様子を見ていて、見よう見まねで踊っている 1 年生。これがまたメチャクチャ“楽しい”し“かわいい”し。整ったカッコいいソーランも素敵だけど、真似ようと一生懸命になっている 1 年生もいい。飽きずにずっと見ていられる。あー幸せ幸せ(^_-)

◇道を歩いていると◇

「校長先生ですね？」と声がかかる。「もう孫も卒業したので、学校の事がわかるのは校長先生の通信だけです。隅から隅まで読んでいます。これからもよろしくお願いします。」と声をかけてもらう\(^o^)/。地元の間人が校長になることの一歩大きな利点は、地域との橋渡しがスムーズにできることだと感じる。いろんな会議へ出て、地域の行事に参加しても、みんなみんな学校を大切に思ってくれていると感じる。けどなかなかそれを伝える場とタイミングが無い。そんな時に地元のおじさん(一応こうっておくけど、気持ちはおにいさん)が校長になったのだから、そりゃいろいろ話したくなるのだろうね。ありがたいことだ。こんな通信でもお役にたてて光栄です。<(_)>

◇6年生音楽発表会◇

一学期の最後を締めくくって、18日(水)に6年生の音楽発表会が行われた。さすが6年生、演奏する楽器の種類も多く、曲も難易度が高い。そして歌は男女ともアカペラで民謡を歌う。少ない時間の中に、盛りだくさんの趣向が凝らされていて、観る者聴く者を飽きさせない。様々な行事、学習の取り組みの合間を縫って練習を重ねたのだろう。その仕事量を考えただけでも頭が下がる。これはさすが!としか言いようがない。発表の出来栄は個人個人思うところはあるかもしれない。緊張したり失敗したりしたかもしれない。でも何より6年生の仲間意識やまとまりが伝わってきて、思わず笑みがこぼれる。そういうあたたかい雰囲気を作り出せることが6年生の最大の長所だと思う

◇西地区有名計画 by6年生・世界初の試み◇

6年生が調べた地域の文化財の情報を、グーグルマップ上にリンクさせ、世界中のどこから誰でも自由に閲覧できるようにする取り組みを、世界で初めて西小の6年生が実現させるといふ。もちろん市文化財課の保阪太一先生が中心となった取り組みを、首都大の大学院生の皆さんがバックアップし、多くの人々の力添えがあって初めて実現できる一大プロジェクトだ。

地域学習は西小学校の誇れる歴史である。いたるところにある児童手作りの案内看板しかり、文化財課のホームページにある動画しかり、考古博物館主催の「わたしたちの研究室」にて最優秀賞しかり。多くの先輩たちから連綿と受け継がれた伝統を、その時代の6

年生がブラッシュアップし、さらにより良いものへと進化させている。今回はまさにその伝統がなせる業だろう。

そしてその陰に、二つ返事で協力してくれる地域の皆様の姿がある。今回も多くの方々
が学校に見え、子どもたちに貴重な資料を示し、たくさんのお話をしてくれた。だからより
子どもたちの興味関心が高まり、研究に深まりが生まれていく。

公開されるのは11月だという。少々待たなくてはならないが、期待感はやがて高
まる。楽しみは遅いくらいがいい。ドキドキしながら待つことにしよう。

◇そんなこんなで1学期が終了

● “昨日買ってもらったんだ〜” と、目が覚めるような新品の黄緑色のクツ。かっこいい
なあ。靴を新しくした時って、速く走れるような気分になったり、歩くのが苦にならな
かったりする。しばらくはルンルン気分が続くね(^)v

● “最初はグー” と言って両手でジャンケンしてくる女の子。えっ? と思いながらもジャン
ケンすると、片方はあいこで片方は負け。そうか、その手があったか。これなら絶対負
けないもんね。

● ある男の子が猫じゃらしをくれたので、それで他の子をくすぐると、あっという間に奪
い取られて、逆にくすぐられる。おじさんは “ももっちゃん” の弱いんだってば。

● “お父さんお母さんの友達が昔ランボルギーニに乗ってたんだよ” へえ〜、すごい!!
川崎もプラモデルは持ってた^m^

● 家の階段から転がり落ちて腕を擦りむいた。川崎は過去に何度か同じことがある。家な
らまだ良いが、学校の階段から落ちた時は、全身を強く打ち痛すぎてしばらく動けな
かった。誰もいない廊下にしばらく横たわっていた。

● ここ何日か連続して、チャボの小屋の中に雀が入っている。なぜ? 何のために? 友達作
り? チャボのエサがうらやましい? 不思議だ。

● 二日連続してセミの抜け殻をシャツにつけてくれる平岡3人娘たち。次の日には151,
152・・・と、暑くて玄関広場に干からびているミミズを数えてくれました。

● 17日、18日は櫛形中学校の3年生(西小卒業生を中心)が、朝登校の時間にあいさ
つ運動に来てくれた。遠くからチラ見して立ち止まる小学生たち。驚いて後ずさりする子
も。でも西小の卒業生とわかったら笑顔であいさつを交わす。卒業しても、どこで出会
っても、この豊かな関係が続くことを願う。

● 「昨夜、夢庵の後ろの席にいたんだよ」。おっと、びっくり。気づかなかった〜! その日
はちょっとした会合があって、そのあと夢庵に。スイーツ食べながら冷酒呑んでました
(^_^)。あっ、モナカを片手にビールも平気です。

● 中休みに全校レクレーション。「貨物列車」。ジャンケンして負けたら、勝った人の後ろ
についていく。勝ち負けによってどんどん長くなる貨物列車。もちろん川崎も参加。校長
先生ならジャンケン弱い!! と思っている子どもたちよ、ふっふっふっ。本気になった大
人は一味ちがうんだぜ。目にもものを見せてくれる。・・・・ふう、結局負け(T_T)

● 5校時が終わって玄関に並んでいる1年生に会う。「あっ校長先生だあ〜(^_^)」「どこ
行って来たの?」「お仕事だよ」「よくがんばったねえ」。はい、励ましありがとう。か
・可愛いすぎる。その後、飯野 t の訂正が入り「おつかれさまでした」と言い直してくれ
た。もう、大好き♡(^_-)

・・・なんて、雑感を綴っていたら1学期も終了です。きっと2学期も同じような雑感
の通信になると思いますが(いや、きつとなりますが)、その辺は温かい目で見てもら
えると助かります。児童の皆さんも保護者の皆さんも、おじいちゃんおばあちゃん、地
域の皆様。くれぐれも猛暑に気をつけてお過ごしください。また笑顔で二学期にお会い
しましょう。それでは(^_^)/~